

家庭学習の力は「生きる力」

〔お家の方へ〕

家庭学習の力は、子どもがこれからの社会を生き抜くために、
「家庭」と「学校」が力を合わせて育むものです。

（お願い）

- ①「早寝・早起き・朝ご飯」などの生活リズムを整えてください。
- ②「勉強中はテレビを消す」「勉強する場所を整理整頓する」など集中できる環境を作ってください。
- ③学習している様子やがんばりを見てあげてください。
- ④やる気を高めるように、ほめたり、はげましたりしてください。
- ⑤子どもと一緒に、今週のめあてや自主勉強でやることを、考えてあげてください。
- ⑥ゲームやインターネットをする時間は、1日1時間程度としてください。

富原小学校 3・4年生のみなさんへ

自分で考え、学習を進める力じぶん かんが すす ちからをつけることは、生きるためにもとても大切なことです。
あせらずじっくりと、つぎの方法で、おうちの人と一緒にいっしょとりくんでみましょう！！

1 家庭学習の時間かていがくしゅうをきめよう！！ →

分

めやすは、（学年）×10分±10分です。

2 今日の宿題しゅくだいをやりましょう！！

3 時間があまったら、自主勉強じ し ゆべんきょうをしましょう！！

4 宿題しゅくだいや自主勉強じ し ゆべんきょうがおわったら、お家の人うちに点検てんけんしてもらいましょう！

学習するときのやくそく

- ①「～ながら学習」はしません。
～を見ながら ～をききながら ～を食べながら
～をのみながら をがまんして集中します。
- ②つくえの上はきれいにします。
- ③文字をていねいに正しく書きます。

「できるようになること」

3年生

- ① 3年生でならう漢字（200字）がすべて読め、ほとんどを書ける。
- ② 主語、述語、修飾語の意味がわかり、内容のまとまりを考えて、文を書くことができる。
- ③ かけ算のひっ算ができる。3けたのたし算、ひき算をひっ算でできる。
- ④ あまりのあるわり算ができる。
- ⑤ ローマ字を正しく読み、書くことができる。
- ⑥ 地図帳を使って地名やその場所をしらべられる。
- ⑦ 三角じょうぎ、分度器、コンパスを正しく使える。

4年生

- ① 4年生で習う漢字（202字）がすべて読め、ほとんどを書ける。
- ② 指示語や接続語を適切に使い、まとまりやつながりに注意して文を書くことができる。
- ③ 国語辞典・漢字辞典のひき方がわかり、活用できる。
- ④ わり算の筆算ができる。
- ⑤ 47都道府県の位置がわかる。
- ⑥ ローマ字を正しく読み、書くことができる。

「こんなことをしてみよう」（おすすめの自主勉強）

やったことは、おうちの人に○付けしてもらったり、聞いてもらったりしよう！

3・4年生

- ① 止めやはね、ひつじゅんに気をつけながら漢字練習をする。
（ゆび書きをお家の人に見てもらおうとすごくいい！！）
- ② はっきりとした声で、教科書の音読をしたり、詩のあんしょうをしたりする。
- ③ 一日のふりかえりとして、したことや思ったことをできるだけ漢字を使って日記に書き、毎日続ける。
- ④ 今日の授業で勉強したことを、家庭学習のノートに写したり、もう一度計算問題をといたりしてみる。
- ⑤ ドリルなどの計算問題をたくさんといてみる。
- ⑥ 教科書にのっているわからない言葉を辞書で調べて意味をノートに書き、その言葉を使って短文を作る。
- ⑦ テストの問題をもう一度ノートにときなおす。
- ⑧ めあてを持って、コンパスで図形をかき、定規や分度器ではかってみる。
- ⑨ 読書をする。気に入った文（文章）を書きぬいたり思ったことを書いたりする。